

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2006.01.18

参加者 西本（城東台小） 倉橋（西大寺南小） 松本（国府小） 田辺（津島小） 福井（中央小）

【パソコンネタ・オンパレード】 松本・倉橋

松本先生はT O S Sランドからダウンロードした教材ソフト百人一首、引き算野球…などなど。教室のパソコンに導入して休み時間に自由に使わせたら、遊びながら勉強に役立ちそうなものばかり。フラッシュプレーヤーを用いるのでパソコン環境によっては動かないかも。そこをクリアすればよい共有財産になりますね。倉橋先生のパソコンは起動すると音楽が流れて水戸黄門のタイトルが現れます。また「サンプラー座」というソフトは画面に50個のボタンが表れ、そこをクリックするといろいろな音がでます。音源はインターネットからダウンロードしてもいいし、自分で録音・変換して登録してもいいようです。うまく使えば学習発表会の効果音として使えそうですね。



【アルコール補充用の自作ビン】 田辺

液の減ったアルコールランプへの補充の仕方ですが、ロウトを使うやり方はアルコールの入ったビンとアルコールランプとロウトを一度に持つのが難しく、液がドバツと入ってあふれることもあります。そこで、これまでは市販の洗浄ビンを使っていたのですが、田辺先生はペットボトルのキャップに穴をあけ、5cm程度に切ったビニールホースを通して自作しました。これだと片手で入れることが出来るし、ペットボトルを押した時だけ液がでるのであふれることもない。またビンを倒してもこぼれないのも大きなメリットですね。



【金属棒の熱の伝わり方】 田辺

4年生「ものの温まり方」の中の金属棒の伝導実験では、冷えた棒全体にロウを塗る方法が教科書では紹介されていますが、田辺先生はポツポツと飛び飛びにロウをたらしめます。すると熱せられた所のロウがしたり落ちるので視覚的に分かりやすいそうです。昔はこれにマッチ棒を立てるといふ職人技みたいなことをしたものでしたが…。



【フンザ食で「食」を考える】 松本

T O S Sネタ。健康なシロネズミ約千匹を3つのグループに分けて、チャパティ（雑穀のパン）、もやし、生ニンジン、生牛乳の「フンザ食」他の二つのグループは「インド食」と「イギリス食」を与えて27か月（人間の寿命の50才に相当する）飼育した後、それらを解剖して健康状態を比較検討するというもの。ちょっと考えさせられますね。



【「さあ～！何人でしょ～！！」と「へえ】 ボタン】 倉橋

いずれもパーティグッズ。前者は秘密の多数決機で、質問に対して何人が該当するか（最大6人）を知ることができます。後者はトリビアの泉というTV番組で、知らなかった、驚いたという時に押すボタン。いずれも場がなごむので、時には教室で使うとオモシロイかも。

